

「天井等の非構造材の落下被害防止指針・同解説」講習会 (追加講習会)

主催 日本建築学会 社会ニーズ対応推進委員会

後援 公共建築協会、全国建設業協会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、ロングライフビル推進協会、日本建築仕上学会、日本インテリア学会、地盤工学会、全国建設室内工事業協会、ロックウール工業会、日本耐震天井施工協同組合、日本建築構造技術者協会、日本膜構造協会

主旨 安全であるはずの建築物が突如凶器と化し、内部空間で多くの利用者の人命を傷つけてしまう。天井等の非構造材の落下事故は早急に解消しなくてはならない問題である。1995年の阪神大震災でも多くの被害が報告されたが、2011年3月11日の東日本大震災では、非構造材の落下、特に夥しい件数の吊り天井の落下事故が広域にわたって発生、多くの人命を奪い傷つける結果となった。これを受け本会に「非構造材の安全性評価及び落下事故防止に関する特別調査委員会」が発足、天井等の非構造材落下事故の防止と解消を目指して本質的かつ有効な発信を行うべく活動を行ってきた。本指針および解説は、特別調査委員会メンバーの知見と活動成果に基づき、天井等の非構造材の落下事故を有効に防止解消するための考え方、現時点での最も望ましい対策を基本に立ち返り、整理した形で提示したものである。本指針が一人でも多くの建築関係者の目に留まり、天井等の非構造材の落下被害の根本的な解消につながれば幸いである。

***本講習会は2015年1月29日に実施したものと同一内容です。**

1. 参加費 (テキスト代含む) 1. 日本建築学会会員 8,000円、2. 後援団体会員 10,000円、3. 左記以外 13,000円

2. テキスト (一般販売は最終会場終了後となります) 『天井等の非構造材の落下に対する安全対策指針・同解説』、B5判、約200頁

3. 申込方法 (参加申込書の注意事項も併せてご一読ください)

定員に達したため申し込み受付を終了しました。

なお、お電話での申込み受け付けておりません。

開催地・期日・会場・定員・申込方法・申込先・参加費支払い方法

開催地	期日	会場	定員	申込方法	申込先	参加費支払い方法
東京	2015年 4月27日(月)	建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)				

定員に達したため申し込み受付を終了しました

プログラム

開催地	期日	時間	13:00 ~ 14:00	14:05 ~ 14:50	14:55 ~ 15:40	16:00 ~ 16:45	16:50 ~ 17:35
		内容	開会挨拶 基本的な考え方	設計の進め方	地震時の損傷制御	各種損傷制御と設備 及び関係者の役割	工法及び事例紹介
東京	2015年 4月27日(月)		川口健一 (東京大学)	多賀 洋 (日本設計)	櫻庭記彦 (清水建設)	猪飼富雄 (大林組)	太田博章 (竹中工務店)

※司会・講師は都合により変更となる場合がございます。